

「安心・活力・発展プラン2015」中間見直し委員会 第4回発展部会 委員意見要旨

No.	項目	発言要旨
1	動物愛護	<ul style="list-style-type: none"> ・動物愛護センターについて、犬や猫が病気をするような状況では如何なものかと思う ・職員が足りているとも思えない ・後々どのように使用するのか等を考えて施設を作るべき
2	教育県大分	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化に伴い学校再編の話が出てくると思われるが、その際、普通科高校を優先して残すのではなく、産業関係のものを残してほしい
3		<ul style="list-style-type: none"> ・高校生の頃に、将来の職業を考えている人は少ない ・高校1～2年生の間に、将来何になりたいのか、しっかり相談に乗り、考えていくようになるとうい
4		<ul style="list-style-type: none"> ・文科省は普通科の改革をするといっている ・文系を選ぶと理科・数学を勉強しなくなり、それが学力低下に繋がるという指摘も ・大分県として、産業教育にもう少し力を入れていくべきではないか ・専門的な業種におけるスペシャリストを育てるため、県立高校と農大、工科短大、芸短等との連携を検討してはどうか
5		<ul style="list-style-type: none"> ・大分の良さは一度外に出ないとわからない ・出た人材が帰ってくるための受け皿、魅力的な仕事などの環境づくりを進めるべき
6		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者は、経営者の人柄を知りたくても知る機会がない ・企業側も保護者に対するアプローチはできないため、知り合う機会を作ることが必要ではないか
7		<ul style="list-style-type: none"> ・「グローバル」は、「インターナショナル」と違い、日常が多文化となることであり、世界中で起こっていること ・グローバル人材というのは、英語による高いコミュニケーションを有すること、多文化理解の適応力があること、スペシャリスト志向であること
8		<ul style="list-style-type: none"> ・英語教育に非常に力を入れていただきたい ・幼児から繋がるような形でプランニングすべき
9		<ul style="list-style-type: none"> ・管理職やベテランの特に女性の先生方は家族の介護に時間を割いていると相談を受けている ・なので、子育てについてだけでなく、介護に時間を割いている先生方もいるということに意識をもっていただきたい
10		<ul style="list-style-type: none"> ・優れた人材を作るには優れた指導者が必要であるため、教職員の質の向上が必要 ・経済5団体との連携や、各種エキスパートとの連携で、外部からの先生の採用や講師としての採用も検討していただければ
11		<ul style="list-style-type: none"> ・公立と私立の教育機関が連携していくことが必要 ・その地域の特徴、各学校の自主性を生かせるようにしてほしい
12		<ul style="list-style-type: none"> ・ものを作る、音楽を奏でるということだけでなく、なぜそのアートが成り立つのか、それをどのように読み解いていくのか、といった考え方の部分が、ビジネスにおいて新たなプランを創出していくのに重要だということが研究されている(STEAM教育) ・芸短というユニークな大学はあるが、今後の大学では、文化の観点だけでなく、企業の競争力強化にも資する、そういった学習ができるとうい
13		<ul style="list-style-type: none"> ・家から出ない高齢者が増えている ・大学を夜間解放して、色々なことを学べるようにできないか ・年齢を問わずに学べる場の提供ということがあるとよい
14		<ul style="list-style-type: none"> ・高校生の保護者が子どもに県内就職をすすめるには県内企業を知らないといけないが、企業が高校生の保護者に直接アプローチできないので、学校や教育委員会がそういう場を提供してほしい ・専門性が違ういくつかの県内大学が連携授業に取り組むことは、混ぜる教育として効果が大きいのもっと推進してほしい

No.	項目	発言要旨
15	芸術文化	<ul style="list-style-type: none"> ・観光の観点から、FITを狙っていく際、ユニークベニュー、コト消費等の言葉が出てくるが、国東半島のように、特殊な場所にエッジの効いた何らかのことが行われるということは、それ自体が世界に向けて発信力のあるコンテンツであり、他とは異なる魅力を発信することができる ・そういったものを集中・集積させ、戦略的に海外に向け発信することがよい ・それが呼び水になり自然体験や食観光に繋がり、ユニークな地域づくりができるのではないかと
16		<ul style="list-style-type: none"> ・国民文化祭後、レガシーについて議論したが、その中で私は国東半島の六郷満山に注目している ・以前高野山に行ったらフランス人が多かったが、理由は「禅」に対する興味が高いというものだった ・大分でもヒントになると思っていたら、国民文化祭の時にもかなり反応がよく、大分にとっての財産になると思ったが、爆発的に広がるものではないので大事に育てて戦略的に広げていくことが必要
17		<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の状況把握について、ネットワークの構築を強化していただきたい ・地域特有の景観、建造物などへの保存についても強化していただきたい ・目標指標について、文化財がどれだけ利用されているか、認知されているかといったものは検討できないか ・大分県らしい企画の充実も盛り込んで欲しい ・芸術を創造する県民をサポートする取組も盛り込んで欲しい ・「公共工事現場」という単語はいかがなものか
18		<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の数を増やすことも必要だが、活用していくことが重要 ・不登校児童生徒への学習機会の確保等に古民家を使うなど、文化財を文化財として使うだけでなく、違う活用も考えられるのではないかと
19	スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブの取組は是非進めて欲しい ・例えば、体育協会がサッカーやラグビーなどの各協会の事務局をまとめたりすれば、各協会には指導に専念できる
20		<ul style="list-style-type: none"> ・選手の育成強化について、オリパラ競技では進んでいるが、それ以外の国際大会に対して財政的な支援がないので、充実を検討して欲しい ・国際スポーツ大会の誘致について、これもオリパラ競技に限定されている ・大分県でも国際大会をやっていることを全世界に発信できるように、海外から選手の誘致に対して支援が必要
21		<ul style="list-style-type: none"> ・大分スポーツ公園について、イベントがない日はどのように活用していくのか ・海外のテクノロジー関係企業等では、福利厚生として健康運動に取り組む企業も増えてきた ・遊休時の大分スポーツ公園施設を何らかの形で活用しビジネスに繋げたり、プログラム開発について取り組んではどうか
22		<ul style="list-style-type: none"> ・RWCのレガシーとは、1～2年後などでできるものではない ・10～20年後にこれができた、といえるよう色々な方の意見をいただきレガシーを気づいていただきたい
23		<ul style="list-style-type: none"> ・ラグビーで外国チームがキャンプ、試合で来てくれており、それがレガシーになるような効果を既に生んでいるので、スポーツ公園、武道スポーツセンターを活用してこれを上手に育てていくことが大事
24	<ul style="list-style-type: none"> ・民間のリサーチで、大分県がじゃらんの調査で満足度一位になっていた ・スポーツによる地域の元気づくりでは、温泉を生かした健康増進づくりなどを入れられないか ・地域の温泉はコミュニティの醸成につながるため、まちづくりの中に温泉というキーワードがあるとよい 	
25	九州の東の玄関口	<ul style="list-style-type: none"> ・大分空港の海上アクセスについて、記載する場所を検討して欲しい
26		<ul style="list-style-type: none"> ・大分空港国際線ターミナルの拡張で反応がいいが、活用すべく国際線の誘致を是非頑張っていたいただきたい
27		<ul style="list-style-type: none"> ・観光客はフェリーで九州に来て、別府くらいにしか泊まらず他県に流れていくという話を聞く ・県内各地を巡る取組があるとよい

No.	項目	発言要旨
28	九州の東の玄関口	<ul style="list-style-type: none"> ・RORO船は経済性の観点で今は動いている ・次は利便性の観点が必要なため、現場の意見を聞いて改善することが重要
29		<ul style="list-style-type: none"> ・大分空港と市街地をいかに結ぶかということは重要 ・時間を短縮することと同時に、時間が読めることも重要
30	交通ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・目標指標は重要なものだが、道路環境が改善すると公共交通利用者が減ってくるということも ・何の手段による移動かという視点も必要 ・短縮できない時間を、楽しく待てる時間にできるような工夫をしていく必要もあるのではないか
31		<ul style="list-style-type: none"> ・災害の頻発を踏まえ、鉄道の断線等に関する対応、強靱化など早期の対応について検討できないか
32		<ul style="list-style-type: none"> ・観光に大事なのはアクセス、道路 ・東九州自動車道、空港道路が整備されてきたが、課題は中九州横断道路でこれが繋がらないと熊本と大分の連携がとりずらくなる ・優先順位を考えてやっていただきたい
33		<ul style="list-style-type: none"> ・ラウンドアバウトは、視覚障害者にとって非常に危険 ・安全の確保が担保できているかもわからない状況では、実証実験をする程度ではないのか？ ・「歩行者に配慮した」という言葉が必要ではないか
34		<ul style="list-style-type: none"> ・路面電車も一つの手段ではないか ・車が多すぎて渋滞やあおり運転といった副作用があることも
35	-	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のラグビーワールドカップは、近所の高齢者が非常に盛り上がっているが、本物をいつも与えられるような政策を進めて欲しい
36	-	<ul style="list-style-type: none"> ・プランの実行にあたり予算を多額に必要と思うが、真摯な姿勢で取り組んでいただきたい